

令和7年度 瀬戸内タウンミーティング意見交換要旨（ゆめトピア長船）

令和8年3月1日（日曜日）

午後2時～午後4時

ゆめトピア長船1階 健康スタジオ

参加者：男性27人、女性18人 合計45人

★意見交換要旨★

（開催時間内に発言いただいた意見を取りまとめていますので予めご了承ください。）

- ・ブルーラインが2車線しかない。対面2車線では大企業は進出してこない。防災面から見ても危険なので、4車線化してほしい。
- ・ブルーラインはイノシシやシカが多い。乗用車も物流トラックも危険で通れない。有害鳥獣駆除をしっかりと行ってほしい。
- ・瀬戸内市は全国で唯一国立ハンセン病療養所が2つあるまち。世界遺産登録は難しいかもしれないが、人権のまちとして活用してほしい。

（市長）

4車線化は県への要望していることの1つ。ブルーラインの通行量が増えないと実現の交渉も難しい。ブルーライン沿いの黒井山グリーンパークをさらに魅力的なものにすることや、市内への企業誘致をしっかりと進めて、企業誘致により生まれる物流によってブルーラインの交通量が増える構造を作ることが大事だと思っている。市ができることをしっかりと進めていきたい。

長島愛生園、邑久光明園のハンセン病療養施設について、おっしゃっていただいたとおり、瀬戸内市は全国で唯一1つの島の中に2つのハンセン病療養施設があるまち。こういった稀有な環境や学ぶべき歴史をしっかりと伝え、世界遺産登録を目指す。

シカやイノシシの駆除については、鳥獣被害対策実施隊が尽力してくれたおかげもあり、捕獲件数は直近5年で倍増しており、鳥獣被害額は半分になっている。来年度予算では箱わなの購入費用の助成金を開始する。これらは主に農地などでの対策なので、おっしゃっていただいたように、道路周辺では捕獲器などの対策は少ないので被害が出ており、対策が難しいところだと思っている。

- ・道の駅一本松展望台は自然の景観が素晴らしく、瀬戸内海の眺めもいいが整備が遅れている。敷地面積が広いので、道や老朽化した遊具を整備し、もっと魅力を活かせば人が集まる。道の駅の利用者の増加は、瀬戸内市内の観光者の増加にもつながる。

- ・空き家対策について、空き家のリフォームに補助ができないか。邑久周辺も空き家が多い。商業施設が近くにあり、リフォームされた手頃な価格の家が増えれば、地域が活性化すると思う。業者と協力して取り組めないか。

(市長)

道の駅一本松展望台は、ブルーラインを通って向かう途中で海が見えとても景色がいい。ただ、木が景色を遮っているところがあるので、市の観光誘致のため木を整備できないか県に要望してきた。その結果、来年度中に対応してもらえる見込み。

一本松は市の直営ではないが、市の再開発の方針と合わせられるところは検討してもらえる可能性があるのでは、市から方針を示すことができないか模索している。トップセールスで様々な企業の人へ視察に来ませんかと提案を続けているところであり、これからもできることを考えていく。

空き家活用について以前、同様のことを検討した際、新しく転入してくる若い子育て世代は、新興住宅地で、周りに同世代の世帯が多い場所を希望する人が多いという話を不動産関係者から聞いたことがある。空き家活用については考え方が難しい部分もあるので、模索しながら取り組んでいきたい。

- ・市内には公共下水道の処理場が 3 つある。農業集落排水も多い。老朽化などによりこれから維持管理費が加算していくと思う。市は公共下水道の処理場に余裕があるので、集約化を行い、空いた施設は近隣の備前市などに使ってもらい費用負担してもらおうなど、うまく連動すれば経費節減できると思う。
- ・干田川の河川改修が進んでいる。飯井付近は遊水地になっていた。改修によって下流の氾濫の危険性が高まるのではないか。
- ・美しい森に野外ステージがあるが、大道芸や軽音楽をしている人に開放してイベント等で活用してみてもどうか。
- ・犬島の航路検証の話があったが、犬島の石が大阪城の石垣に使われているそうだ。牛窓の前島からも石が運ばれたと聞いたので、うまく連携して誘客できれば面白いと思う。

(市長)

色々と具体的なご意見をいただきありがたい。担当課とも共有し今後の施策の選択肢として参考とさせていただきます。

- ・市の企業誘致は進んでいるのか。
- ・旧長船町公民館跡地を避難所にするという計画は今どうなっているか。
- ・アイリスオーヤマの新工場完成が遅れている理由を把握しているか。
- ・市は物価高対策支援で、現金給付では経費がかかるため、水道料金の基本料金無償化という形で実施したが、予算が余るのではないか。

(市長)

企業誘致については、現時点で公表できるものはない。就任してから市長として取り組んでいることはビジネスホテルの誘致。大手ホテルチェーンの社長などに直接営業を行っている。

長船に令和9年4月に開園予定の民間こども園が、地域の皆さんの避難場所となるようにするため、2階建ての設計で計画されている。

アイリスオーヤマについて市が把握していることは、利用する国の補助金の関係で当初のスケジュールではなくなっているようだ。令和8年中には物流拠点としての倉庫が建設される予定。

令和8年3月からの1年間の水道基本料金の無償化で、一世帯あたり約1万5千円が減免されることになり、市全体では2億円ほどになる。予算(国の物価高騰対応地方創生臨時交付金)が約4億円ある。その予算で、令和7年度はカキの大量へい死被害で影響を受けた市内のカキ事業者への支援を実施しており、令和8年度で、小・中学校給食費負担軽減、保育料第2子無償化、出産・子育て応援給付金を実施予定としている。

・子育て世帯などへの支援だけでなく、年金で生活する高齢者への支援も行ってほしい。

幅広い世代の方への支援という側面からも、水道料金の基本料金無償化を実施する。このように新たな施策を実施すると、高齢者を切り捨てるのかという意見も時折いただが、高齢者の方だけを優遇していくと、子どもが減り、地域の高齢化や担い手不足、空き家の増加が加速し、地域の維持管理が十分にできなくなり、とても住みづらいまちになる。結果として、様々なことを高齢者自身で負担してもらうようになってしまう。未来に投資しながら、みんなが住みやすいまちをつくる必要があると考える。

また、市の予算で見ると、高齢者の福祉や医療に使われる予算は、子育て世帯に係る事業の2倍以上となっている。全体のバランスを見ながら施策に取り組んでいく。

・4月から開始するという出産・子育て応援給付金だが、こども一人当たりの支援金額が10万円は安いと思う。2人目以降の給付金額は100万円にしてもいいと思う。

(市長)

金額などについては様々な意見があると思う。ご意見として参考にさせていただく。

- ・企業誘致で大きな企業が市内に進出すると、特定技能実習生として外国人労働者がたくさん流入することがあると思う。全国的に見ても外国人とのトラブルが多発している。瀬戸内市も、外国人が増えることで治安が悪化するのではないかと懸念している。
- ・外国人労働者の雇用によって地元の雇用者が切り捨てられることもある。働く場所がたくさんなければ人が増えないという考えも理解するが、市としても数十年先を見据えて考えてほしい。

(市長)

外国人がいることと治安が悪いことは関係しないと思う。一番大切なのは相互理解を深めることだと思っており、お互いにコミュニケーションをしっかりとれる体制となるように市もバックアップできればいいと思っている。

現状は、瀬戸内市は外国人労働者の雇用人口割合がかなり低い。今後増えてくると、おっしゃっていただいたような問題が発生するかもしれない。そういったことも見据えて検討していく必要がある。治安の悪化に外国人が関係するとは思っていないが、現状は人口当たりの犯罪発生率はかなり低く治安は保たれている状態といえる。

数十年先を考えたとき、現在移住元となっている県内の近隣市も人口が減少していくと思われるので、グローバルな対応もしていけないと、まち自体がなくなることにつながると思う。様々な選択肢を模索し、中長期の施策を考える必要があると思っている。

- ・水道料金の基本料金無償化について、予定されている 14 カ月の期間以外で、再度無償化を実施する予定はあるか。
- ・無償化のあとに水道料金を引き上げることはないか。
- ・市民病院の眼科は現在 1 名体制なので、医師が体調不良などで休むと診察できなくなる。
- ・市営バス美和線の日中の増便を希望する。また、土日祝日の運行もそろそろ開始できないか。
- ・邑久町本庄の花尻川、千町川の浅くなっているところを浚せつか掘る必要があるのではないか。

(市長)

水道料金無償化については、14 カ月分以外は予定していない。今回、国の物価高騰対策の臨時交付金を財源として行ったため、今後の国の方針次第となる。

水道料金については、インフラの老朽化や管路更新などにより、値上げを避けられない状況となる可能性は常にある。なるべく値上げしないように模索して議論していきたい。今後、配管にコストが比較的にかからない企業利用をどこまで増やせるかが、料金を値上げせず維持できるポイントになると思っている。

病院は医師の確保が難しい状況があるが、可能な限り安定的な運営をしていきたい。また、美和線の増便や浚せつについてはご意見として承る。このような要望については、自治会など地域からの要望として市へ提出いただきたい。市内全域からたくさんの要望が市に寄せられるので、ご面倒をおかけするが、地域の合意が得られた要望として提出いただけるとありがたい。

- ・放課後児童クラブに作業療法士を配置できないか。多種多様な子どもに対応できる専門知識を持つ人材が必要だと思う。または、児童クラブのスタッフを対象に、講師を

招き研修を実施できないか。言語聴覚士や臨床心理士などの配置も検討してほしい。

- 全国的に不登校の子どもが増えていると思う。離島留学のような教育制度を作り、親子で市内に引っ越してきてもらえれば、人口増加にもつながると思う。住まいとして空き家も活用できると思う。
- 市の国際交流活動が活発ではない。市内に住みたい外国人がいたときなど、市の国際交流協議会がまずサポートするべきだと思う。岡山市などと連携して色々な方法を検討し、外国人が住みやすい国際都市を目指せばいいと思う。
- 地域の高齢者は色々な知識を持っている。空き家をリフォームして住みたい人などが、高齢者から知識や技術を借りることができるといった、若い世代と高齢者の両方が活躍できる場所を作るといいと思う。

(市長)

貴重なご意見をいただきありがたい。今後の施策の参考とさせていただく。